

「柏崎の橋」

7 1 比角小学校前横断歩道橋

比角小学校前横断歩道橋は、旧市道64号線（現柏崎2-1号線）に架かる立体歩道橋である。登下校の時間帯には、比角小学校の児童だけでなく、近隣の第二中学校の生徒や、多くの地域住民に利用されている。

この歩道橋は、比角小学校が移転・新築することに伴い整備された。昭和4年に建設された木造の旧校舎は老朽化し、地元からも改築の要望が出されていた。また約千人もの児童数で、校地も校舎も狭くなっていたため、移転・新築することになった。新校舎は、比角1丁目（現在の第二中学校の場所）の旧校舎から約500m南に離れた扇町に建設された。当時、扇町付近はまだ田園風景が残っていたものの、周辺には幹線道路がいくつも通っていたため、児童がこれを横切って通学するのは危険という、今までにはなかった課題が出てきた。特に旧市道64号線は市街地へつながる大動脈で、交通量が多く、登下校する児童の安全対策として歩道橋が造られることになった。昭和61年11月に歩道橋の建設が着工、新校舎での



横断歩道橋の様子 右奥に比角小学校がある

授業が4月からできるように、昭和62年3月に完成した。

新学期から新校舎へ移る比角小学校の児童は、通学路が変わり、新たに歩道橋も渡ることになるため、春休み中の4月1日の朝に登校練習を行い、始業式が始まる4日の登校に備えた。「新校舎へ歩道橋を渡り登校する」という初めての経験に児童らはにこやかで、同校はこの児童らの様子に「歩道橋、横断歩道ともに上手に渡れたようだ」と合格点を出したという。

また冬期間は積雪や凍結があり、階段も滑りやすいため、歩道橋にはロードヒーティングが設置された。約50mの歩道橋に、1500mの電熱線が階段と跨線部分すべてに細かな間隔で折り曲げて入れられ、その上をゴム系のアスファルトで舗装してある。この融雪と凍結防止対策により、誰もが安心・安全に利用できる歩道橋となった。

交通安全の大きな役割を担っている歩道橋。子どもたちが楽しい学び舎へ向かう、大切な通学路である。

●参考にした資料

- 『比角校ものがたり』（376 Kヒス）
創立百周年記念誌「比角校ものがたり」編集委員会 編
- 『比角小学校校舎竣工 パンフレット』（376 Kヒス）
比角小学校校舎竣工記念実行委員会 編
- 「越後タイムス」昭和61年10月19日2面
昭和62年12月13日3面
- 「柏崎日報」昭和62年4月1日2面、同年6月3日1面
同年6月6日1面

